

3 自動車運送事業

(1) 事業の概況

自動車運送事業は、仙台都市圏における主要な公共交通機関として、また地下鉄等の軌道系交通機関に結節し、これを面的に補完する公共交通機関として大きな役割を果たしている。乗合バスは、営業路線 580.97 km、47 路線 230 系統（平成 28 年 4 月 1 日現在）の路線を合計 483 両で運行しており、平成 27 年度は一日あたり約 11 万人のお客様を輸送した。また貸切バスは、学校外活動の移動手段やイベント時の観客輸送の手段として 13 両で運行しており、平成 27 年度は年間約 23 万人の輸送実績をあげた。また、「仙台市自動車運送事業経営改善計画（平成 27 年 3 月改訂版）」（計画期間：平成 23～28 年度）に基づき、乗客サービス向上や経費削減に向けて継続して取り組んでいる。

乗客サービス向上に向けた取り組みとしては、ICカード乗車券 **icsca**（イクスカ）について、平成 27 年 12 月 6 日の地下鉄東西線開業と同時にバスでも運用を開始するとともに、南北線も含めた全ての地下鉄駅でバスと地下鉄とを乗り継いだ場合は運賃支払いに利用できるポイントを付与するなどの新たなサービスを開始した。また、平成 28 年 3 月 26 日には、Suica との相互利用により全国 10 社局が発行する IC カードでの乗降を可能とした。今年度は、平成 28 年 10 月に予定されている敬老乗車証の IC カード化への対応の準備を進めていく。

さらに、東西線開業に合わせて地下鉄東西線結節駅周辺の路線に新たな均一運賃制度を導入し、一層の利便性向上と再編後のバス路線の利用促進を図っているほか、バスの接近情報を提供するバスロケーションシステムについては、更新により機能を強化した新システムの運用を今年度当初より開始しており、引き続き新システムの安定稼働に努めるとともに、さらなるサービス拡充について検討していく。

また、お客様の安全性と利便性の一層の向上に向けた取り組みとしては、平成 27 年度末までに全車両への設置が完了した常時記録型ドライブレコーダーを、事故の未然防止や接遇の向上に向けた取り組みに活用していく。

経費削減に向けた取り組みとしては、バス運転業務等の管理の委託について、事業量の概ね 2 分の 1 の委託を継続する。また、バリアフリー化の推進や環境対策として、引き続き低公害型ノンステップバスの導入を進めていく。

本年度は、現行の自動車運送事業経営改善計画の最終年度に当たることから、厳しい経営環境下においても安全で快適な地域の足、市民の足を将来にわたって安定的に維持できるよう、事業の効率性や採算性向上に向けた検討を進め、更なる経営体質の強化に向けた次期計画の策定に取り組む。

